

「動物と自然を科学しよう2013」

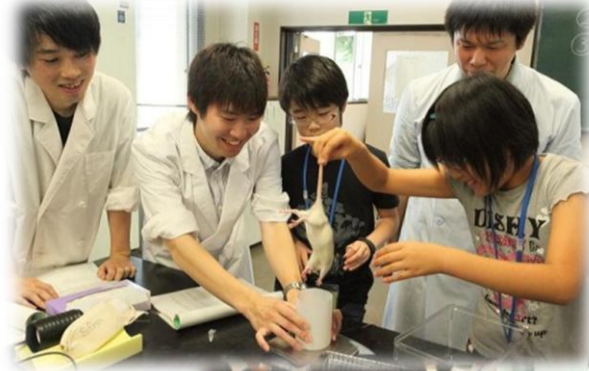
○高血圧と実験動物を使った血圧測定・・・獣医薬理学:山脇 英之 准教授



開講式 獣医学部の高井伸二学部長からご挨拶をいただきました。



岡田先生からラットの持ち方の指導「しっぽをやさしくもちます」と・・・



ラットがなかなか思うように言うことを聞いてくれません



こちら悪戦苦闘しながら、ラットポケットに入れようと・・・ 入ってくれないと実験が・・・



体重を計って、ラットポケットに入れたら、しっぽに測定用のカフをつけて、心拍数と血圧を計ります。大学にはすごい機械があることもわかりました！



楽しみにしていた学食！先生やスタッフの学生さんからいろんなことが聞けました。

○卵って何で黄色いの？～卵ができるまでを体の中から見よう～・・・動物代謝機能学:黒瀬 陽平 教授

ニワトリは3つの品種に分類される。お肉になることを専門にしたのがブロイラー、卵を産むことを専門にしたのがレイヤーと言います・・・と鑑賞して楽しむことを目的としたのが愛玩鶏です。



午後の講義は、卵について学びました。まずは、ニワトリの違いから・・・



卵の不思議 酢、油、めんつゆ3種類の調味料に浸しておいたら、どの調味料で卵がとけるかの実験では？ (答えは・・・酢でした！)



迷路では、このんだ色で誘導、うまく迷路を脱出できるかの実験！

ブロイラーのヒナが色を認識できるかの実験、ヒナの好みの色は？



お世話になった先生方と全員で集合写真を撮りました。

※短期体験学習は、ふだん目にする事のない専門機器、実験器具を使って大学ならではの講義内容でした。このような異日常の体験に子どもたちは皆感動しながら講義を受けていました。来年も多くの子供たちに参加していただきたいと思います。 館長